

授業改善プラン

地域名	南房総教育事務所	学校名	市原市立南総中学校
-----	----------	-----	-----------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○学力状況調査の数学の結果は、全国平均を下回っている。特に「記述式の問題」「複数の考え方があ問題」は課題となっている。また、タブレット端末の活用方法を研究し、生徒に伝えていくことも課題のひとつである。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

○式の計算、文字の式、方程式の学習において、自分が計算した途中式の説明やプレゼンテーション活動を取り入れることによって、多様な考え方を比較検討する力がつくであろう。

3. 具体的な実践

- 授業で学習した「まとめ」については、自分のことばでまとめるようにする。まとめは、式や図、表なども活用する。
- まとめた内容や授業中の記述については、ICT機器活用の工夫をし、共有する。仲間の意見などもまとめに入れて、次の授業に活かしていく。
- 自宅学習でも活用できる教材の開発。
- 南総中SDGsの実施。

4. 成果

- 複数解答がある問題の記述は、正解することができなくても考え方を記述したり、仲間の意見を参考にすることができる生徒は増えた。
- ICT機器活用の工夫により、意見共有の方法が増えた。
- SDGsを取り入れることで、学習への意欲向上につながっている。

◆担当指導主事から（南房総教育事務所 指導主事 鷺山 俊夫）

○生徒の意見交換やまとめの共有場面が多く見られ、授業活性化につながった。対話の時間と共有の時間のバランスも考えながら、授業実践をしていくと良い。まとめを自分のことばで作ることについては、どの生徒にも定着している様子がわかった。